

事前評価調書

I 事業概要						
事業名	道路事業（道路改良事業）					
地区名	主要地方道名古屋半田線（阿久比工区）					
事業箇所	愛知県知多郡阿久比町大字福住地内					
事業のあらまし	<p>主要地方道名古屋半田線は、愛知県名古屋市熱田区から愛知県半田市住吉町に至る延長約25.8kmの路線であり、国道1号や国道23号などの主要幹線道路と接続し、名古屋市と知多半島中心部を結ぶ重要な路線である。また、第二次緊急輸送道路として位置づけられ、防災上重要な路線でもある。</p> <p>当該事業区間の周辺では、特に通勤・通学時において渋滞が発生しており、物流や人の交流などの点で地域の課題となっている。</p> <p>このため、「人の交流を支え地域を活性化する基盤整備」、「国際競争力を強化する基盤整備」、「地震・津波対策の強化」を主な目的として、当該地域における交通の円滑化と周辺の渋滞を緩和するとともに、自動車工場が立地する大府市や刈谷市と中部国際空港を結ぶ道路ネットワークの強化、そして大規模災害時等に高規格道路等へのアクセス性を向上させて円滑な救援・復旧活動を行うため、主要地方道名古屋半田線（阿久比工区）のバイパス整備を実施するものである。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>(1) 人の交流を支え地域を活性化する基盤整備（部方針）</p> <p>(2) 国際競争力を強化する基盤整備（部方針）</p> <p>(3) 地震・津波対策の強化（部方針）</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>					
事業費	事業費		内訳			
	14.7億円		■工事費7.2億円、■用補費7.0億円、■その他0.5億円			
事業期間	採択予定年度	平成29年度	着工予定年度	平成29年度	完成予定年度	平成35年度
事業内容	バイパス整備（延長：L=1.3km、車線数：4車線、幅員：W=22m）					
II 評価						
①事業の必要性	1) 必要性	<p>(1) 人の交流を支え地域を活性化する基盤整備（渋滞緩和）</p> <p>交通量は13,442台/12h、混雑度は1.19となっており、特に通勤・通学時において渋滞が発生している状況である。（H22道路交通センサス結果）</p> <p>(2) 国際競争力を強化する基盤整備（広域交通性の向上）</p> <p>自動車工場が立地する大府市や刈谷市と中部国際空港を結ぶ道路ネットワークの強化を求められている。</p> <p>(3) 地震・津波対策の強化（広域的な防災機能の向上）</p> <p>第二次緊急輸送道路に指定されており、大規模災害時等に円滑な救援・復旧活動を行うため、高規格道路等へのアクセス性を高める必要がある。</p>				
	判定	A	<p>A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】</p> <p>円滑な交通の確保や防災機能の向上のため、事業実施の必要がある。</p>			

②事業の実効性	1) 事業計画	【事業計画】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> <th>H35</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">工 種 区 分</td> <td>調査・設計</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">←→</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">7.5</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">7.2</td> </tr> </tbody> </table>									H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	工 種 区 分	調査・設計	←→							用地補償		←→						工事					←→			事業費（億円）		7.5				7.2		
			H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35																																										
	工 種 区 分	調査・設計	←→																																																
		用地補償		←→																																															
工事						←→																																													
事業費（億円）		7.5				7.2																																													
2) 地元の合意形成	・地元自治体より早期整備の要望を受けている。																																																		
判定	A	A：事業計画の実効性が期待できる。 B：事業計画の実効性が期待できない。																																																	
	【理由】	・円滑な事業環境が整っており、計画の実行性が確保されている。																																																	
III 対応方針																																																			
事業実施が妥当である	事業実施が妥当である。：上記①～②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。																																																		
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容																																																			
■対象（事業完了後5年目） □対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 — 【主な評価内容】 交通量（全車、大型車）、旅行速度、混雑度																																																			